

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>			<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>	1.1 室内騒音レベル			<b>2.6</b>	0.15			<b>2.6</b>
	1.2 遮音			<b>3.0</b>	0.40			
	1 開口部遮音性能			<b>3.0</b>	0.40			
	2 界壁遮音性能			-	1.00			
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-			
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-			
	1.3 吸音			<b>1.0</b>	0.20			
				<b>3.0</b>	0.35			<b>3.0</b>
				<b>3.0</b>	0.50			
				<b>3.0</b>	0.50			
<b>2 溫熱環境</b>	2.1 室温制御			<b>3.0</b>	0.50			
	1 室温			<b>3.0</b>	0.50			
	2 外皮性能			-	0.17			
	3 ゾーン別制御性			-	0.33			
	2.2 湿度制御			<b>3.0</b>	0.20			
	2.3 空調方式			-	0.30			
				<b>3.0</b>	0.25			<b>3.0</b>
				<b>3.0</b>	0.50			
				<b>3.0</b>	1.00			
				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>		
<b>3 光・視環境</b>	3.1 昼光利用			<b>3.0</b>	0.50			
	1 昼光率			<b>3.0</b>	-			
	2 方位別開口			-	-			
	3 昼光利用設備			-	-			
	3.2 グレア対策			<b>3.0</b>	-			
	1 昼光制御			-	-			
	3.3 照度			-	-			
	3.4 照明制御			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>		
				<b>3.5</b>	0.25			<b>3.5</b>
				<b>4.0</b>	0.50			
<b>4 空気質環境</b>	4.1 発生源対策	下地・仕上げすべてにF☆☆☆☆の建材を使用		<b>4.0</b>	1.00			
	1 化学汚染物質			<b>4.0</b>	0.50			
	4.2 換気			<b>3.0</b>	0.30			
	1 換気量			-	0.50			
	2 自然換気性能			-	-			
	3 取り入れ外気への配慮			-	0.50			
	4.3 運用管理			<b>3.0</b>	0.20			
	1 CO <sub>2</sub> の監視			-	-			
	2 喫煙の制御			-	1.00			
				<b>3.5</b>	0.30			<b>3.5</b>
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 機能性</b>	1.1 機能性・使いやすさ			<b>2.9</b>	0.40			<b>2.9</b>
	1 広さ・収納性			<b>3.0</b>	0.40			
	2 高度情報通信設備対応			-	-			
	3 バリアフリー計画			<b>3.0</b>	1.00			
	1.2 心理性・快適性			<b>3.3</b>	0.30			
	1 広さ感・景観	天井高さ3790mm		<b>5.0</b>	0.33			
	2 リフレッシュスペース			<b>2.0</b>	0.33			
	3 内装計画			<b>3.0</b>	0.33	<b>1.9</b>		
	1.3 維持管理			<b>2.5</b>	0.30			
	1 維持管理に配慮した設計			<b>3.0</b>	0.50			
<b>2 耐用性・信頼性</b>	2.1 耐震・免震・制震・制振			<b>3.0</b>	0.30			<b>3.0</b>
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			<b>3.0</b>	0.50			
	2 免震・制震・制振性能			<b>3.0</b>	0.80			
	2.2 部品・部材の耐用年数			<b>3.4</b>	0.20			
	1 転体材料の耐用年数			<b>3.0</b>	0.20			
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			<b>2.0</b>	0.20			
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	壁・天井:ビニルクロス 床:セラミックタイル		<b>5.0</b>	0.10			
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.10			
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水、給湯、雑排水:B 上位三種が全てBを使用		<b>5.0</b>	0.20			
	6 主要設備機器の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.20			
<b>2.4 信頼性</b>	1 空調・換気設備			<b>2.4</b>	0.20			
	2 給排水・衛生設備			<b>3.0</b>	0.20			
	3 電気設備			<b>1.0</b>	0.20			
	4 機械・配管支持方法			<b>3.0</b>	0.20			
	5 通信・情報設備			<b>2.0</b>	0.20			

3	<b>対応性・更新性</b>		<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
	<b>3.1 空間のゆとり</b>	階高4.9m 壁長さ比率 0.09	<b>5.0</b>	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		<b>5.0</b>	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		<b>5.0</b>	0.40	-	-	
	<b>3.2 荷重のゆとり</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
	<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	<b>3.0</b>	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	<b>3.0</b>	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	<b>3.0</b>	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
1	<b>生物環境の保全と創出</b>	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
2	<b>まちなみ・景観への配慮</b>	-	<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
3	<b>地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
	<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.1</b>
1	<b>建物外皮の熱負荷抑制</b>	-	<b>1.0</b>	0.20	-	-	<b>1.0</b>
2	<b>自然エネルギー利用</b>	-	<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
3	<b>設備システムの高効率化</b>		<b>2.1</b>	0.50	-	-	<b>2.1</b>
	集合住宅以外の評価		<b>2.1</b>	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		<b>3.0</b>	-	-	-	
4	<b>効率的運用</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
	集合住宅以外の評価		<b>3.0</b>	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		<b>3.0</b>	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
1	<b>水資源保護</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
	<b>1.1 節水</b>	-	<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	<b>3.0</b>	0.70	-	-	
	2 雜排水等利用システム導入の有無	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
2	<b>非再生性資源の使用量削減</b>		<b>3.2</b>	0.60	-	-	<b>3.2</b>
	2.1 材料使用量の削減	-	<b>3.0</b>	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	<b>3.0</b>	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	<b>3.0</b>	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	<b>3.0</b>	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	下地にLGSを採用している。	<b>4.0</b>	0.22	-	-	
3	<b>汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
	<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>	有害物質を含まない材料を3種別使用	<b>4.0</b>	0.30	-	-	
	<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>		<b>3.0</b>	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
1	<b>地球温暖化への配慮</b>	LCCO2=81%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
2	<b>地域環境への配慮</b>		<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
	<b>2.1 大気汚染防止</b>	-	<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>	-	<b>3.0</b>	0.50	-	-	
	<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>		<b>2.7</b>	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	2 污水処理負荷抑制	-	<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	<b>3.0</b>	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	<b>2.0</b>	0.25	-	-	
3	<b>周辺環境への配慮</b>		<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
	<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 騒音	-	<b>3.0</b>	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	<b>3.0</b>	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	
	<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>4.4</b>	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインのチェックリストの過半を満たしている	<b>5.0</b>	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	<b>3.0</b>	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画															
1.3.1 維持管理に配慮した設計	2.0	-			○	○	-	-	-						
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		○	○	○	-	○	-	-	○	-				-
2.4.1 空調・換気設備	2.0	-					○	-	-	○	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-		○	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.5 通信・情報設備	2.0	1.0	-	-	-	○	○	-							
	1.0		-	-	○	-	-	-							
<b>Q3 敷地内環境</b>															
1 生物資源の保全と創出	8.0		2.0	-	3.0	1.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	-	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		2.0	-	1.0	1.0	-	2.0	2.0	2.0	-	-			
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雜排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-						
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.0														
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	-	2.0	3.0	3.0	-	2.0	-	-	-			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		1.0	-	-	-	1.0	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	1.0	-	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

**主な指標****Q1 室内環境**

## 2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率( $\eta$ ) -					
U値(W/m <sup>2</sup> K)		窓システム	屋根 -	外壁 -	床 -		
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	$\eta$ AC -	$\eta$ AH -			

## 3.1.1 昼光率

昼光率 -

## 4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口面積率 -

**Q2 サービス性能**

## 1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	- /人	病床	- /床	シングル	- ツイン	-
コンセント容量	- VA/m <sup>2</sup>					

## 1.1.2 高度情報通信設備対応

天井高	3.79 m
リフレッシュスペース	-

## 1.2.1 広さ感・景観

想定耐用年数	- 年
想定必要間隔	- 年

## 2.2.1 車体材料の耐用年数

想定必要間隔	- 年
想定耐用年数	20 年

## 2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定耐用年数	- 年
想定必要間隔	20 年

## 2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定耐用年数	- 年
想定必要間隔	- 年

## 3.1.1 階高のゆとり

階高	4.9 m
壁長さ比率	9.0%

## 3.1.2 空間の形状・自由さ

壁荷重	- N/m <sup>2</sup>
外構緑化指数	-

**Q3 敷地外環境**

## 1 生物資源の保全と創出

建物緑化指数	-	地表面対策面積率 -		
空地率	-	水平投影面積率 -	地表面対策面積率 -	舗装面積率 -

## 3.2 敷地内温熱環境の向上

BPI/BPI <sub>m</sub>	1.05	断熱等性能等級	対象外 相当	
自然エネルギー直接利用量	- MJ/年 m <sup>2</sup>	採光を満たす教室数	-	採光を満たす住戸数 -
		通風を満たす教室数	-	通風を満たす住戸数 -
		太陽光 .0kW	太陽熱等 .0kW	蓄電池 .0kW

3 BEI/BEI<sub>m</sub> 再エネ有 0.79 無 0.79 オフサイト再エネ有 - -

BEI/BEI <sub>m</sub>	再エネ有 0.79	無 0.79	オフサイト再エネ有 -	-
一次エネ削減率	再エネ有	無		

**LR1 エネルギー**

## 1 建物外皮の熱負荷抑制

雨水利用率	-			
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等 -

## 2 自然エネルギー利用

使用比率	-			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)		

## 2.5 持続可能な森林から産出された木材

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)		
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	

## 3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	

## 3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	

## 3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	
オゾン層破壊係数(ODP)	-	地球温暖化係数(GWP)	-	

**LR2 資源・マテリアル**

## 1.2.1 雨水利用システム導入の有無

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw -		
地表面対策面積率	-	屋根表面対策面積率 -	外壁表面対策面積率 -	

## 2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用

見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws -	m	基準高さHb - m
緑地	m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>	保水性対策面 m <sup>2</sup>

## 2.5 持続可能な森林から産出された木材

見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws -	m	基準高さHb - m
緑地	m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>	高反射対策面 m <sup>2</sup>

**LR3 敷地外環境**

## 2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	-	隣棟間隔指標Rw -		
地表面対策面積率	-	屋根表面対策面積率 -	外壁表面対策面積率 -	

見付面積Sb	-	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws -	m	基準高さHb - m
緑地	m <sup>2</sup>	水面	m <sup>2</sup>	再帰性反射対策面 m <sup>2</sup>